

研究業績等評価素点表

平成21年度(平成20年度活動対象)

2008.12.17

評価対象	内 容	備考	事業構想学部			看護学部	食産業学部	
			(経営系)	(理工系)	(デザイン系)	(看護医療系)	(社会科学系)	(自然科学系)
著書	1 学術著書		20	20	20	20	20	20
	2 教育著書(教科書等)		8	8	8	8	8	8
	3 訳本(他著者の訳本)		7	7	7	7	7	7
	4 訳本(自著書の外国語訳)		3	3	3	3	3	3
	5 辞書(編集)		5	5	5	5	5	5
	6 辞書(項目担当)		1	1	1	1	1	1
	7 一般書		5	5	5	5	5	5
研究論文等	8 学術雑誌掲載論文(権威ある国際論文誌)		30	30	30	30	30	30
	9 学術雑誌掲載論文(国際的論文誌)		15	15	15	15	15	15
	10 学術雑誌掲載論文(国内論文誌)	国内発行の英語論文誌: +3	7	7	7	7	7	7
	11 その他の論文(紀要・学会誌・商業誌等)	学会抄録等は除外	3	3	3	3	3	3
	12 報告書(科研費等)	新聞記事は除外	3	3	3	3	3	3
13 解説記事等(学会誌・商業誌等)		3	3	3	3	3	3	
学会発表等	14 国際学会発表		5	5	5	5	5	5
	15 国内全国学会発表		3	3	3	3	3	3
	16 国内地域学会発表		2	2	2	2	2	2
	17 国際学会(招待講演等)		10	10	10	10	10	10
	18 国際学会(シンポジスト等)		6	6	6	6	6	6
	19 国内全国学会発表(招待講演等)		6	6	6	6	6	6
	20 国内地域学会発表(招待講演等)		5	5	5	5	5	5
	21 国内全国学会発表(シンポジスト等)		4	4	4	4	4	4
22 国内地域学会発表(シンポジスト等)		3	3	3	3	3	3	
作品(芸術活動;建築作品;工業製品;コンピュータ;ソフト;情報システム等)	23 作品(デザイン、プランニング、提案、基本設計等の段階)	23を基礎として、段階に合わせて加点する	3					
	24 作品(商品化、事業化等、実現の段階)		+4					
	25 作品(受賞等、外部から一定の評価を受けた段階)		地域レベル+8;全国レベル+13					

(注)・表中の素点は、原則として単独あるいはファーストオーサー(責任著者・編著者を含む)の場合の点数。共同・共作の場合は×0.3とする。

(例)看護学部 10:看護研究、日本看護科学学会誌、日本看護研究学会誌、家族看護学研究、日本循環器看護学会誌等
11:各大学紀要、電子情報学会技術報告、小児看護(商業誌)等